

第 6 孤立集落調査

災害時に道路や通信網が途絶し、孤立するおそれのある地区を、次の想定で図上抽出した。

(1) 道路寸断区域

道路（1/25,000 地形図で 1 条道路まで）が、土砂災害で寸断した場合、各集落から、主な防災関係機関へのアクセスが不能になる区域を抽出した。

なお、土砂災害は、土石流危険区域及び急傾斜地崩壊危険箇所が発生するものとした。

(2) 通信困難区域（携帯電話不通エリア）

有線電話が不通となった場合、携帯電話でも通信不能となる区域を抽出した。

携帯電話（NTT ドコモ（mova、foma、PHS）、ソフトバンクモバイル、AU、Willcom）の通信エリア外の区域とした。

これによると、孤立化のおそれのある集落は、山間部に広く分布し、永野川の上永野より上流、思川の上粕尾細尾より上流、南摩川の梶又より上流、粟野川の上五月より上流、荒井川の上久我石裂より上流、及び東大芦川の上流が該当する。

これらの集落の災害救援には、移動系防災行政無線や消防無線による通話や、ヘリコプターによる輸送が必要となるが、山間部のため、無線通信エリアや臨時ヘリポート適地も限定される。

このため、これらの集落では、防災無線や臨時ヘリポートが確保できるエリアへの早期の避難体制や、衛星電話等の配備を検討する必要がある。

